

November 2021



Writer / 登別小学校区きずな推進委員会リーダー 田畑恒義

新型コロナウイルス感染症のため計画した行事が思うように進まず、地域のきずな力が弱まっているのではないかと歯がゆい思いをしています。逆に家族団らんの機会が増えた今、家族のきずなを高め、強め、深めるコロナチャンスだと思います。

感染が落ち着きはじめたこの頃ですが、引き続き気持ちを緩めることなく、マスクなしで笑顔で井戸端会議ができる生活に戻るまであと少し辛抱しましょう。後から振り返った時、あんな時もあったねと笑える日まで。

第4期登別市地域福祉実践計画（愛称きずな計画）の策定にあたり、市内の福祉事業所を対象にアンケート調査を実施しました。今回はその結果の一部をお伝えします。

期 間：2021年7月17日～2021年10月15日

対 象：市内福祉事業所89カ所（高齢者関係62、障がい児者関係16、子ども関係11）

回収率：91.0%

### ≪地域住民と共に行うことができる取り組み（上位5つ）≫

1. 高齢者のみの世帯の安否確認（69.1%）
2. 災害が発生した際の安否確認（67.9%）
3. 災害が発生した際の避難誘導（59.3%）
4. 認知症の方の見守り（54.3%）
5. 自力での除雪が困難な世帯への対応（44.4%）

地域活動実践者に聞いた

### ≪地域の主体的な取り組みが必要だと思うもの（上位4つ）≫

1. 高齢者のみの世帯の見守り訪問（70.4%）
2. 災害発生時の避難誘導（64.8%）
3. 認知症の方の見守り（52.1%）
4. 自力での雪かきが困難な世帯への対応（50.7%）



### ひとこと分析

福祉活動実践者のアンケート結果と比較してみると、上位の回答は事業所、福祉活動実践者ともに類似が見られました。

高齢者のみの世帯の安否確認については、双方で約7割にのぼります。また、災害時や除雪についての課題は、事業所としても地域と共に取り組む必要性を感じているようです。

今後は事業所と地域がより連携した、新しい形での地域づくりが行える可能性があります。

### 地域への感謝の言葉も

多く寄せられました

### 地域の福祉活動実践者へのメッセージ

- ・先進的なきずな活動が全市で取り組まれていることがありがたく、町の誇りだと思います。
- ・母もボランティアに23年携わっています。また、保育所にはファミリーサポートの方もお迎えに来てくれます。みなさんに、ありがたい気持ちでいっぱいです。
- ・住民の住民による住民のための支え合い活動が実践されていることに、「安心して生活できる」との声が聞かれます。
- ・いつも柔軟に対応して頂ける地域の皆様に助けられています。これからも連携を図りながら、それぞれの立場で地域のために頑張りましょう！

# Kizuna &

地域福祉活動のお悩みは社協まで



社会福祉法人 登別市社会福祉協議会

〒059-0016 登別市片倉町6丁目9番地1

総合福祉センターしんた21内

TEL / 0143-88-0860

web / <https://kizuna-shakyo.jp/>

mail / [info@kizuna-shakyo.jp](mailto:info@kizuna-shakyo.jp)